科目名	教材・授業研究（1）（言語）
担当教員	前嶋　深雪
科目属性	専門科目Ａ群
単位数	２単位（SC　0.5 単位）

【授業の目的・ねらい】

本授業では、授業づくりのための教材研究を含め、実践的指導力を高めることを目指しています。言語（国語科）の教科指導は、言葉への深い理解という基礎があってはじめて可能になります。世界中にある数多くの言語の中の一つとしての日本語の特徴をとらえること、日本語の変遷の歴史を知ること――つまりは、言語学の知識と日本語学の知識の獲得――によって、教材の扱い方と授業展開の幅を広げていきます。

国語科は「言葉を通じた理解や表現及びそこで用いられる言葉そのものを学習対象としている」（学習指導要領より）ため、教員が日本語という言語の特質をつかむことにより、児童生徒が「みずから考え」「言葉を扱うことをおもしろいと感じ」、同時に「読みを深める」ための指導の方法と教材の提供を容易にしていきます。

また、文章の構造分析の力も大切です。国語の教科書には、説明文や物語文がテキストとして採録されています。説明文の構造、物語文の構造をきちんととらえるにはレッスンが必要です。そして、構造をとらえられなければ、文章を正しく読み取ることはできません。

新学習指導要領では〔知識及び技能〕と〔思考力・判断力・表現力等〕として、日本語についての理解と言語能力を身につけ、他者とのやりとりのために必要な日本語運用能力の育成を目指しています。言語（日本語）の学びは、コミュニケーション能力の育成という「生きる力」を支えるための大事な基盤となります。本授業の具体的な到達目標は、以下の４つとなっています。

１．言語学と日本語学の知識を持ち、言葉（日本語）に対する理解を深める
２．学習指導要領における「対話的な学び」「言語能力」「言語活動」と「国語科教育」の関係性について知る
３．〔知識及び技能〕に関する日本語の理解を深め、授業づくりのための視点を得る
４．〔思考力・判断力・表現力等〕に関する「A　話すこと・聞くこと」「B　書くこと」「C　読むこと」の学びの内容と授業づくりのための視点を得る

【授業計画】

全 15 回（2 単位）の講義内容における学修量は、以下のようになります。

1. 国語（日本語）の歴史と言語の性質の理解/国語科教育について
（第 1 回～第 4 回相当）
①ガイダンス（国語科教育のねらいとは？）
②国語科教育の目標
③言語文化
④日本語の歴史

2. 言語使用と語彙/国語科の学び〔知識及び技能〕に関連して
（第 5 回～第 8 回相当）
①語彙と言語使用
②日本語の特徴
③国語科教育と情報
④言語と情報の扱い方

3. 言語活用と日本語運用能力/国語科の学び〔思考力・判断力・表現力等〕に関連して
（第 9 回～第 12 回相当）
①話すこと・聞くこと（音声言語に関すること）
②環境との音声言語の相関
③書くこと（書記言語に関すること）
④日本語の文字・表記の歴史

4. 言語能力と対話/国語科の学び〔思考力・判断力・表現力等〕に関連して/まとめ
（第 13 回～第 15 回相当）
①読むために必要な言語能力

②対話的な学びとコミュニケーション能力
③まとめ

【評価方法】
評価については、レポート（2 本）35%、スクーリング 35%、科目修得試験 30%の割合で総合しての評価となります。
レポートの提出は、スクーリング前までに１本、スクーリング後に提出１本となります。レポートテーマは、学修指導書に挙げた４つのテーマからの自由選択です。
レポートの目的は、基礎知識の充実です。言語学や日本語学中心のテーマとなっています。すべてを面接・対面方式のスクーリング授業で学ぶのではなく、通信制大学院の良さを生かし、みずから学び、深めることのできる知識をレポートで深めてください。

【教科書】
1. 工藤浩 他『改訂版日本語要説』(ひつじ書房、2009)ISBN：9784894764682

【参考図書】
1. フェルディナン・ド・ソシュール『新訳 ソシュール 一般言語学講義』（町田 健 訳　研究社、2016）ISBN：9784327378226
2. 谷口一美『学びのエクササイズ　認知言語学』（ひつじ書房、2006）ISBN:9784894762824
3. 小松英雄『日本語はなぜ変化するか　母語としての日本語の歴史』〔新装版〕（笠間書院、2013）
ISBN: 978-4305706836
4. 橋爪大三郎『はじめての構造主義』（講談社現代新書、1988）ISBN:9784061488984
5. 加賀野井秀一『２０世紀言語学入門構造主義』（講談社現代新書、1988）ISBN:9784061492484
6. 立川健二・山田広昭『現代言語論』（新曜社、1990）ISBN:9784788503724
7. 橋爪大三郎・大澤真幸『げんきな日本論』（講談社現代新書、2016）ISBN:9784062883917
8. 教育課程研究会編著『アクティブ・ラーニングを考える』（東洋館出版者、2016）ISBN:9784491031859
9. キャサリン・ベルジー（訳・解説 折島正司）『ポスト構造主義』（岩波書店、2003）ISBN:9784000268691
10. 河野哲也『現象学的身体論と特別支援教育:インクルーシブ社会の哲学的探究（心の科学のための哲学入門 3)』（北大路書房、2015）ISBN: 9784762828874